

## 火山 PJ 課題間連携研究：伊豆大島 WS

日時：10月7日（金）～10日（月）

7～8日：討論会（東大地震研会議室：ハイブリッド）

各講演は20分、討論10分

### 10月7日（金）

9：30 - 9：40 研究会開催にあたって

中川光弘（北大）

#### A. 静穏期：噴火シナリオの再評価と改訂、そして伊豆大島の噴火準備とは

座長：中川光弘（北大）

9：40 - 10：40

##### 1. 伊豆大島噴火シナリオ（予知連版）の構想とやり残したこと

津久井雅志（千葉大）

伊豆大島噴火シナリオ（予知連版）の構想と噴出物から見えること

森田裕一（防災科研）

伊豆大島噴火シナリオ作成の反省とそこから考え始めたこと

10：40 - 12：10

##### 2. 地質・物質の研究から見た予知連シナリオの評価：推移・マグマ供給系の見直し

石塚 治（産総研）

周辺海域を含めた伊豆大島側火山の活動とそのマグマ供給系

栗谷 豪（北大）

伊豆大島火山のマグマ供給系に対する物質科学的制約

池永有弥（東大）

安永噴火を中心とした伊豆大島の噴火推移とマグマシステム

### （昼食）

座長：前野 深（東大）

13：00 - 13：30

石橋秀巳（静岡大）

伊豆大島の浅部マグマ供給系：1986B マグマの形成過程

13：30 - 14：30

##### 3. 最近の地物観測・研究から見た予知連シナリオの評価

小山崇夫（東大）

電磁気連続観測からみる伊豆大島火山の推移

鬼澤真也（気象研）

伊豆大島噴火シナリオ再評価と改訂に向けた既存知見の整理

14 : 30 - 15 : 00

大場 武 (東海大) \* : 都合により C-2 セクションの一部移動  
噴火兆候として予測される火山ガスの組成変化について

(休息)

15 : 15 - 16 : 15

4. 討論 : シナリオをどのように改訂するか (できるか)

前野 深 (東大)  
伊豆大島における噴火推移モデル

**B. Unrest 期 : あるシナリオを想定したとして、どのような事象が観測されるか**

座長 : 藤田英輔 (防災科研)

16 : 15 - 17 : 45

1. シミュレーション+実験 (その1) :

小園誠史 (防災科研)  
火山活動推移の定量的把握—マグマ移動モデルに基づく検討—  
川口亮平 (気象研)  
マグマ移動シナリオに基づく地殻変動シミュレーション  
黒川愛香 (防災科研)  
レオロジー実験から探る 1986 年伊豆大島割れ目噴火溶岩の時間依存性

10 月 8 日 (土)

座長 : 大湊隆雄 (東大)

9 : 00 - 10 : 30

2. 観測 : 大島だけではなく玄武岩質火山を対象に

山本 希 (東北大) オンラインまたは午前希望  
多項目観測による火山活動推移の把握と現象理解  
青木陽介 (東大)  
地球物理観測でみる玄武岩質火山噴火と噴火未遂の先行現象  
森田雅明 (東大)  
土壌ガス観測から分かること

(休息)

10 : 45 - 11 : 45

3. 討論 : 分岐判断時に観測データが間に合うか

大湊隆雄（東大）

伊豆大島の観測体制と噴火時に予想されるシグナルについて

### C. 噴火開始期：小規模噴火からピークに向けての活動中にどのように対応するか（できるか）

座長：安田 敦（東大）

12：40 - 14：40

#### 1. 観測体制の維持と推移予測のための重要な観測項目：

高木朗充（気象研）

火山活動の推移予測に資する観測体制の維持と重要な観測項目

金子隆之（東大）

衛星リモートセンシングによる伊豆大島の噴火推移観測

#### 2. 地質学的・物質学的調査

嶋野岳人（常葉大）

諏訪之瀬島火山など開放系火山におけるマグマ供給推移のタイムスケールと調査、試料

採取の実際と問題点

松本恵子（産総研）

火山灰を用いた噴火活動評価の実際と問題点

（休息）

15：00 - 15：30

#### 3. ハザード評価：現在のハザードマップの評価と噴火シナリオの使われ方。

川邊禎久（産総研）

伊豆大島避難計画策定時に噴火シナリオがどのように使われたか、何が足りないか

座長：藤田英輔（防災科研）

15：30 - 17：00

#### 4. 討論：

安田 敦（東大）

推移予測にはどのような物質科学的データが必要か、間に合うか

藤田英輔（防災科研）

噴火時におけるシミュレーションの活用について

### D. 総合討論

座長：中川光弘（北大）

17：00 - 17：30